令和4年1月25日

保護者　様

荒川区立第三中学校長
小　柴　憲　一

お子さまの登校の判断について

荒川区では、教育委員会から各小・中学校の保護者の皆様へ情報配信される新型コロナウイルス感染症の感染者の情報は、校長にも全て配信されるシステムになっております。

小学校は24校、中学校は10校、合わせて小・中学校は34校ありますが、昨日、24日は27校の小・中学校で感染者の確認がありました。

各小・中学校からの情報で、以下のような事例があります。

○家族の誰かがPCR検査を受けている状況で子どもが登校し、その家族の陽性が判明してから子どもを休ませたが、翌日子どもが発熱してPCR検査受けたところ、その子どもの陽性が判明した
○家族の誰かが発熱症状がある状況で子どもが登校し、翌日その子どもも発熱し家族でPCR検査を受けたところ全員陽性だった
○ある子どもが陽性と判明した前日に、その子どもと密になって遊んだが登校しつづけ、数日して発熱して病院で抗原検査を受けたところ陽性と判明した

これらの事例では、このあとその子どもの学級で感染が拡大しました。

本校では、
○保護者の方が発熱症状があるので子どもを休ませる
○陽性となった子どもの保護者の方が、ご自身の子どもが接触した友達の保護者に連絡をし、連絡を受けた保護者の方がお子さんを休ませる
○兄弟の学級で陽性者が確認され、兄弟が濃厚接触者と指定されたので、兄弟の検査結果が出るまで休ませる
などのご協力をいただいており、大変ありがたいことだと思っております。

規則のうえでは、先ほどの四角内の事例は登校させてはいけないということはありません。また本校の事例でも、お子さんを登校させることが何らかの規則に反することにもなりません。

しかし、オミクロン株は先ほどの四角内の事例をねらって拡大していき、どこかで高齢者や基礎疾患がある方など体力の弱い人間に行き着くことをねらっていると思えてなりません。

24日の全校朝礼で「3年生を守れ！」という話をしましたが、中学校でいえば、最終的に3年生をねらっているように思えてなりません。3年生を陽性者にして受験の機会を奪おうとしているオミクロン株、私は今「WITH　コロナ」とか「コロナとの共生」という気にはさらさらなれません。

保護者の皆様、仮に規則に反していないとはいっても、お子さまを登校させるに当たっては、登校させていい状況かどうか慎重にご判断いただき、本校に在籍している子どもたちとつながっているご高齢の方や基礎疾患のある方、そして本校の3年生を守っていただきたくご協力をお願いいたします。